

IV

まちづくりの施策 の方針と主な事業

基本方針5

連携を強め地域を支えるネットワークの創造



連携を強め地域を支えるネットワークの創造

課題

- ◇地域活性化、防災、生活利便性等の向上のために、地域内外を結ぶ道路交通ネットワークの整備・充実、また、誰もが自由に移動できるまちをめざして、公共交通ネットワークの構築が必要です。
- ◇田園環境と学研都市の都市環境が混在するまちとして、それぞれの地域の個性を活かしながら、調和のとれた環境づくりが必要であり、計画的な土地利用や都市拠点の整備が求められています。
- ◇学研木津北地区は、オオタカやカスミサンショウウオをはじめとする貴重種が生息する等、豊かな自然に恵まれています。この自然を里地里山として、将来に継承していくために、市民、地元地域、里地里山保全活動団体、企業及び行政等の多様な主体が協力して、保全活動を進めていく必要があります。

展望

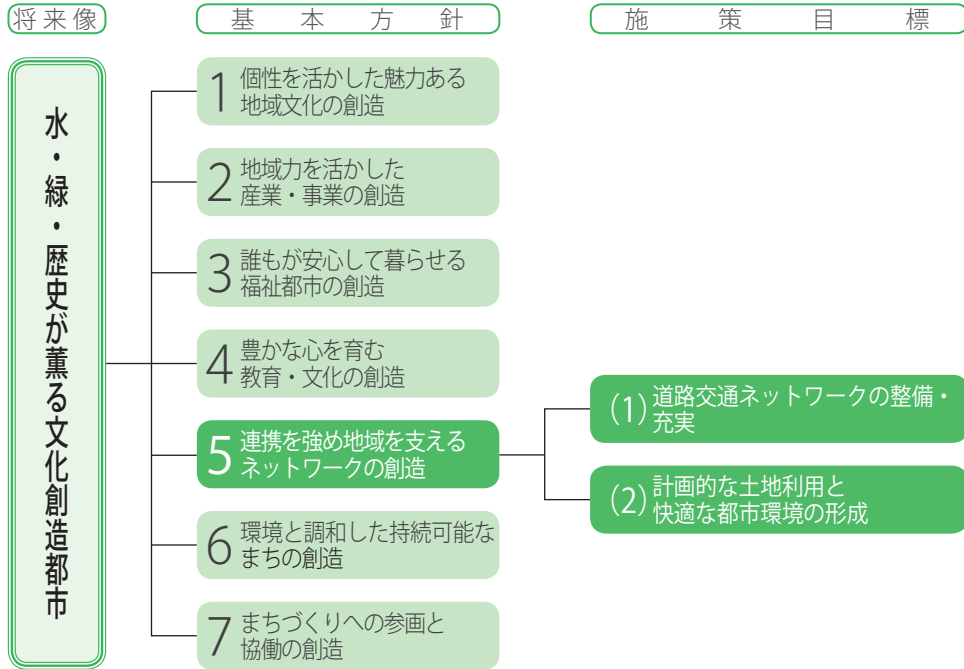
(1) 道路交通ネットワークの整備・充実

- ◇市内の主要道路の整備や、市民に身近な生活道路の改善を図り、地域を結ぶ道路ネットワークの充実に努めます。
- ◇鉄道駅施設の利便性・安全性の向上や、鉄道網の充実を関係機関に働きかけるとともに、コミュニティバス*の継続的な維持・改善に取り組み、地域公共交通ネットワークの充実に図ります。

(2) 計画的な土地利用と快適な都市環境の形成

- ◇自然・田園環境と都市環境が調和した計画的な土地利用を進め、環境の保全、快適な生活環境、風格ある美しい景観等を持つ豊かな都市の形成をめざします。
- ◇本市の中心都市拠点として、都市基盤の整備、商業施設等の集積・充実を図り、都市拠点としての整備を推進します。
- ◇国や京都府等の関係機関と連携しながら、学研都市の市街地整備の推進、景観形成の整備等に取り組みます。

施策の体系



■鉄道乗車人員

□JR

(人)

	総数	棚倉駅		上粕駅		木津駅		西木津駅		加茂駅	
		乗車人員	一日平均	乗車人員	一日平均	乗車人員	一日平均	乗車人員	一日平均	乗車人員	一日平均
平成18年	2,809,040	204,765	561	167,535	459	1,138,070	3,117	174,470	478	1,124,200	3,080
平成19年	2,809,405	203,670	558	170,455	467	1,169,095	3,203	168,995	463	1,097,190	3,006
平成20年	2,821,000	195,000	534	171,000	468	1,205,000	3,302	167,000	457	1,083,000	2,968
平成21年	2,732,755	187,975	515	165,345	452	1,182,600	3,240	165,345	453	1,031,490	2,826
平成22年	2,729,596	198,533	544	157,824	432	1,210,614	3,317	162,500	445	1,000,125	2,740
平成23年	2,716,000	208,000	568	164,000	447	1,222,000	3,341	162,000	443	960,000	2,624
平成24年	2,714,000	209,000	571	156,000	427	1,248,000	3,420	159,000	436	942,000	2,581

資料：西日本旅客鉄道株式会社（各年1月1日から12月末）

□近鉄

(人)

	総数	木津川台駅		山田川駅		高の原駅	
		乗車人員	一日平均	乗車人員	一日平均	乗車人員	一日平均
平成18年	8,056,007	440,432	1,207	882,874	2,419	6,732,701	18,446
平成19年	8,652,659	437,181	1,194	853,656	2,332	7,361,822	20,114
平成20年	8,601,411	440,177	1,206	826,097	2,263	7,335,137	20,096
平成21年	8,501,646	427,175	1,170	800,880	2,194	7,273,591	19,928
平成22年	8,513,232	415,827	1,139	798,297	2,187	7,299,108	19,998
平成23年	8,419,142	413,265	1,129	793,052	2,167	7,212,825	19,707
平成24年	8,354,275	412,128	1,129	795,821	2,180	7,146,326	19,579

資料：近畿日本鉄道株式会社（各年1月1日から12月末）

■市道、都市計画道路の整備状況

□市道

道路延長	道路面積	改良済		舗装済		
		延長	改良率	延長	面積	舗装率 (面積)
547,290.2 m	2,910,022.7 m ²	278,884.1 m	51.0%	461,497.0 m	2,645,534.6 m ²	89.9%

資料：管理課（平成24年度末現在）

□都市計画道路

計画決定 総延長	改良済延長	概成済延長
73,090 m	50,940 m	7,270 m

資料：都市計画課（平成23年度末現在）

(1) 道路交通ネットワークの整備・充実

施策25 地域を結ぶ道路ネットワークの整備

施策の基本方針

木津川市の活力に満ちた地域づくりを進めるため、広域的な交通を分担する主要幹線道路の整備や地域間交通、市域内交通の円滑化を図るための主要道路の整備を進めます。

また、交通の利便性や安全性を確保するため、市民に身近な生活道路の環境改善を図ります。

施策の実現に向けた主な取組み ①

広域道路網の整備

[所管課：指導検査課、まちづくり事業推進室]

- ◇木津川市の一体性を確立するため、国道24号、国道163号の渋滞の解消や歩道空間の改善について、関係機関に積極的に働きかけ、早期実現をめざします。
- ◇災害時におけるネットワークの強化・地域経済の活性化等のため、木津川右岸において、宇治木津線の新設を促進します。
- ◇関西文化学術研究都市木津中央地区（城山台）の開発に併せ、都市計画道路東中央線及び天神山線（国道163号木津東バイパス）の早期完成をめざし、国・京都府・木津川市がさらに連携・協力し、整備を促進します。
- ◇主要地方道、一般府道等の幹線道路について、関係機関と協議し、計画的な改良・整備を促進します。
- ◇府道上狛城陽線の改良について、京都府と連携・調整を図り、改良・整備を促進します。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ 国道163号の拡幅等整備促進
- ・ 木津川右岸宇治木津線道路新設促進
- ・ 都市計画道路東中央線及び都市計画道路天神山線の整備促進
- ・ 国道24号の歩道整備促進
- ・ 府道上狛城陽線の整備促進

施策の実現に向けた主な取組み ② 地域間循環道路の整備

[所管課：建設課、まちづくり事業推進室、都市計画課]

- ◇ 広域幹線道路の整備とともに、市域の地域間を循環する道路網の整備を図ります。
- ◇ 本庁舎へのアクセス道路となる市道「木335号 木津山田川線」について、市民が安全に市役所へ来訪できるよう、早期完成をめざします。
- ◇ 赤田川水門付近の府道天理加茂木津線の改良について、河川改修をともなうことから、国・京都府とも連携・調整を図り、実現化をめざします。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ 木津山田川線道路改良事業
- ・ 下梅谷鹿背山線整備事業
- ・ 府道天理加茂木津線の改良整備促進
- ・ 木津駅東・西駅前広場アクセス道路事業の検討

施策の実現に向けた主な取組み ③ 地域内生活道路網の整備

[所管課：建設課]

- ◇ 安心・安全に近鉄木津川台駅にアプローチできる歩行者専用道路の事業化に向けた調整を進めます。
- ◇ 木津中央地区（城山台）から木津市街地へのアクセス道路を整備することで、将来の交通量増加に対応する道路整備を推進します。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ 木津川台駅アプローチ道路の事業化に向けた調整
- ・ 内垣外内田山線道路改良事業
- ・ 西垣外加茂線道路改良事業
- ・ 木津中ノ川線道路改良事業
- ・ 市道 2-15 号線道路改良事業

■ 成果指標 ■

指標項目	現況値 (H25年)	目標値 (H30年度末)
「生活道路の便利さ」に対する満足度	45.3%	51.6%
「通勤・通学の交通の便利さ」に対する満足度	34.7%	39.7%
国道 24 号の混雑度	1.4 (H24)	0.92
都市計画道路整備率	86.5% (H24)	↑

施策26 地域公共交通ネットワークの充実

施策の基本方針

木津川市の地域特性に応じて地域公共交通ネットワークを最適なものに改善し、地域公共交通ネットワークを活用した魅力的で利便性の高いまちづくりを進めます。

鉄道については、利用者の視点に立った駅施設の利便性・安全性の向上や関西文化学術研究都市の発展促進のため、鉄道網の充実を関係機関に積極的に働きかけます。

また、コミュニティバスについては、持続可能な運行をめざして、継続的な維持・改善に取り組めます。

施策の実現に向けた主な取組み ①

まちづくりと連携した公共交通戦略の取組み

[所管課：学研企画課]

- ◇コンパクトで持続可能な魅力あるまちづくりを実現するために、円滑な交通の確保や、徒歩・自転車・公共交通の役割分担等、総合的な公共交通施策に取り組めます。

施策の実現に向けた主な取組み ②

鉄道網の充実

ア) 駅のターミナル機能の強化

[所管課：学研企画課]

- ◇地域内の老朽駅舎の改築、鉄道施設のバリアフリー化及び鉄道利用者の駅施設の利便性の向上等を関係機関へ積極的に働きかけます。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ JR 駅舎再生業務委託事業

施策の実現に向けた主な取組み ②

鉄道網の充実

イ) 輸送力等の向上

[所管課：学研企画課]

- ◇ JR 奈良線・片町線・関西本線の安全対策の強化、高速化・複線化による輸送力・輸送スピードの向上を関係機関へ積極的に働きかけます。
- ◇ 京阪奈新線の市域内への延伸を関係機関へ積極的に働きかけます。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ JR 複線化、輸送力向上等の促進要望
- ・ 京阪奈新線の延伸の実現化要望

施策の実現に向けた主な取組み ③ コミュニティバスの充実

[所管課：学研企画課]

◇市民が安心して移動できる生活環境の確保に配慮した公共交通サービスの充実を図るため、地域の実情に応じ、環境負荷の軽減や観光資源の活用にも留意した持続可能な公共交通の確保をめざします。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ 地域公共交通総合連携計画の更新
- ・ コミュニティバスの運行



▲コミュニティバス

■ 成果指標 ■

指標項目	現況値 (H25年)	目標値 (H30年度末)
「通勤・通学の交通の利便さ」に対する満足度	34.7%	39.7%
コミュニティバスの年間利用者数	283,028人 (H24)	300,000人
コミュニティバスの収支率	39.46% (H24)	50%

(2) 計画的な土地利用と快適な都市環境の形成

施策27 計画的な土地利用による豊かな都市形成

施策の基本方針

それぞれの地域の個性を活かし、自然・田園環境と都市環境が調和した計画的な土地利用を進め、自然・田園環境の保全を図るとともに、快適な生活環境と風格ある美しい景観を持ったまちの実現をめざします。

施策の実現に向けた主な取組み ①

活力と持続可能で魅力あるまちづくりの実現に向けた取組み

(所管課：学研企画課、都市計画課)

- ◇ 都市計画マスタープランに基づき、活力と持続可能で魅力あるまちづくりを進めます。特に市役所周辺は、本市の中心市街地として市街地整備を進めるとともに、加茂地域及び山城地域については、市街地整備事業等により整備された都市基盤を活かして、地域コミュニティ・日常生活の顔・核としての都市機能の充実を図ります。
- ◇ 学研都市においては、住環境や産・学環境整備を促進し、郊外の農業や自然資源の魅力や特性を活かした土地利用を進めます。
- ◇ 中心市街地や学研都市等においては、公共空間と一体的な美しさを持った都市景観の形成に努めます。
- ◇ 中山間地域*や限界集落*化傾向にある地域においては、過疎化・高齢化の進行や農業・農村の担い手の減少及び耕作放棄地の増加等により、地域活力や多面的機能の低下が懸念されており、地域の活性化・振興を図ります。
- ◇ 良好な都市環境の形成を図るため、まちづくりの進展に応じて、用途地域の設定を検討します。
- ◇ 少子高齢化社会に対応したコンパクトで魅力あるまちづくりに向けて、交通渋滞の緩和や、交通に起因する環境負荷の軽減等のため、過度に自家用車に依存することなく、徒歩、自転車、公共交通等の各モードが連携し、適切な役割分担による望ましい都市・地域像の検討と実現に努めます。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ 地区計画の推進
- ・ 都市・地域総合交通戦略の検討
- ・ 都市景観形成の充実

成果指標

指標項目	現況値 (H25年)	目標値 (H30年度末)
「まちなみやまちの雰囲気」に対する満足度	48.3%	53.7%

施策28 中心都市拠点と都市拠点の整備促進

施策の基本方針

長い歴史のなかで、商業・業務・住宅等の都市機能が集積し、伝統・文化を育み、にぎわいを形成してきた木津川市の都市拠点としての整備を推進します。

また、道路等の都市基盤整備を推進し、商業業務等の集積・充実による活性化を促進します。

施策の実現に向けた主な取組み ①

中心都市拠点の整備促進

[所管課：観光商工課、都市計画課]

- ◇ 南山城地域の中心部や学研都市木津地区の玄関口として、便利でにぎわいのある中心都市拠点をめざし、商業・業務・住宅等の都市的機能の集積・充実を図ります。
- ◇ 関西文化学術研究都市木津中央地区の整備効果と中心都市拠点機能をより強化し、活力あるまちとなるよう、JR木津駅東周辺における市街地整備を検討します。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ 木津川市中心市街地活性化基本計画 作成の検討
- ・ 木津駅東周辺地区整備事業の検討

施策の実現に向けた主な取組み ②

都市拠点の整備促進

[所管課：観光商工課、都市計画課]

- ◇ 加茂地域と山城地域の都市拠点を、中心都市拠点を補完する拠点として位置付け、各地域における日常生活の拠点として商業・業務機能等の充実を促進します。

成果指標

指標項目	現況値 (H25年)	目標値 (H30年度末)
「まちなみやまちの雰囲気」に対する満足度	48.3%	53.7%
「買い物の便利さ、快適さ」に対する満足度	43.8%	48.8%

施策29 学研都市の整備促進

施策の基本方針

学研都市において、計画的な整備開発により21世紀の新都市にふさわしい優れた環境を持つ都市の形成を促進するため、国や京都府等の関係機関と連携しながら、市街地整備の推進、景観形成の整備等に取り組みます。

施策の実現に向けた主な取組み ①

学研都市の個性ある景観形成の促進と機能充実

[所管課：学研企画課]

- ◇道路等の公共空間と民有空間の双方が協力し、統一感のある質の高いまちづくりを進め、豊かで潤いのある魅力的な学研都市の個性ある都市景観の形成に努めます。
- ◇関西文化学術研究都市の中核を担う自治体として、大学等の文化学術研究施設や研究型産業施設の立地を推進する等、その都市形成と機能充実を促進します。
- ◇関西文化学術研究都市の魅力を高めるため、構成市町や関係機関等との広域的な連携を進め、情報発信を図ります。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・ 関西文化学術研究都市の情報発信
- ・ 学研都市区域内の教育・研究機関等との連携



▲独立行政法人日本原子力研究開発機構
関西光科学研究所



▲公益財団法人国際高等研究所

施策の実現に向けた主な取組み ② 木津北地区及び木津東地区の土地利用 方策の促進

[所管課：学研企画課、都市計画課]

- ◇木津北地区は、木津川市の里地里山景観のシンボル性や歴史的重要性を考慮し、里地里山環境の再生を図り、地域づくり及び地域振興の資源として、地域連携保全活動計画に基づき、各種団体や市民参加による利活用の検討を進めます。
- ◇木津東地区は、優れた田園環境の保全と活用に配慮しながら、宅地等の整備のための諸条件を整理し、都市的土地利用の可能性について検討を進めます。

◆◆ 主な事業等 ◆◆

- ・学研木津北・東地区土地利用計画の推進
- ・生物多様性 * 木津川市地域連携保全活動計画の推進



▲里地里山保全活動

施策の実現に向けた主な取組み ③ 周辺地域における市街地整備の推進

[所管課：学研企画課、都市計画課]

- ◇学研都市の整備に関連し、必要な公共施設整備や土地利用計画等の変更を適切に行い、周辺地域の整備の促進を図ります。

■ 成果指標 ■

指標項目	現況値 (H25年)	目標値 (H30年度末)
「まちなみやまちの雰囲気」に対する満足度	48.3%	53.7%
「関西文化学術研究都市を活用した産業の振興」に対する満足度	9.8%	14.8%
里地里山の維持管理への参加者数	3,329人 (H24)	5,000人